

高砂市議 一人会派 緑の党グリーンズジャパン

# 井奥まさきの市政ニュース

2014.10 (月刊+：10月号 通算 96号)

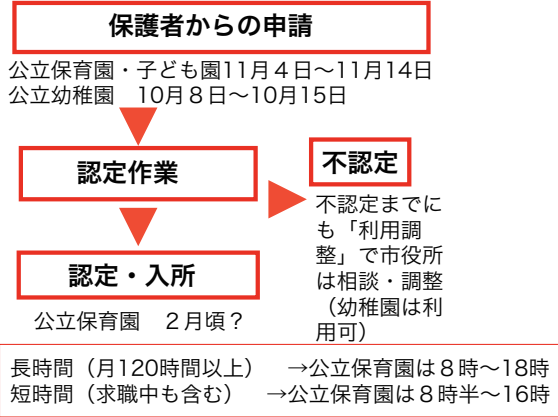


「自宅」兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9  
Tel 079-444-2343 Fax 444-2418  
E-mail:iokuioku3@gmail.com  
http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも  
ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」  
でweb 検索を

## 子ども子育て 9月定例会で条例提案 2015 年子ども政策大改革の議論始まる

高砂市議 井奥まさき



### 10月より認定が始まります

2015年より子ども子育て大改革が行われます。次年度入所にあたっては「認定」が行われることになります。以前に比べると、**月48時間以上の勤務時間が必要**というのが大きな違いです。国が定めた基準で一番市民に便利な基準である48時間を設定したこと、通勤時間を含める運用をするとの

答弁があるなど高砂市も「待機児童ゼロ」の伝統を守るための努力の跡があります。しかし、今までと違う「認定」結果がでる可能性もあります。もし、不認定や実態に合わない「短時間」といった結果が出た場合は率直に市の担当者と話し合ってください。また、匿名でも実際の状況について上の連絡先まで私に伝えてくだされば幸いです。相談も歓迎です。

### 伝統保持には目に見える努力を

現場担当者の努力は買いますが、「子ども子育て日本一」にはまだまだ努力とアピールが不足していると感じます。例えば、審議の中でも明らかになりましたが、「条例で政省令をそのまま引用

「規則も国の基準案どおり」というのは非常に残念でした。

国会議員が決めた法律でなく、国の職員が作った「政省令」をまるごと引用するというのは「地方で自分たちの法律を作る」という気概がないことのあらわれです。また、「運用で配慮する」という答弁が乱発されましたが、「障がい者の兄弟姉妹がいるために月48時間は働けない」など想定される事柄については「条例」や「規則」で盛り込むことで市の積極的な姿勢を伝えることとなります。

残念な点ではありますが、議論と実践は始まったばかりです。2015年改革に向けて引き続き一緒に市へ提言していきましょう。

## 9月議会一般質問

## 居眠り自治体・高砂市を目覚めさせる3つの政策を提言

選挙後はいつも選挙中に訴えた姿勢や政策を市長にぶつけることにしています。総論として「居眠り状態にある高砂市は目覚める必要がある」ということを述べた後、「エネルギー産業で仕事づくり」「子ども子育て日本一へ」「市役所改革」の3つの政策の柱でそれぞれ政策提言を行いました。

**井奥・役割の終えた「太陽光発電」への補助金に代え、「太陽熱」利用や融資制度を行ってはどうか**

答・地球温暖化対策地域協議会に提案し、協議していく

**井奥・公立保育園の保育時間の延長が必要では**

答・11時間(現在より1時間延長)となるよう検討する

**井奥・「誰でも参加できる」市長と語る会復活は**

答・[市長] 市民と市長が直接対話ができるという機会は増やしたい(答弁は概要です。詳しくは議事録、議会だよりやインターネット録画放送をご覧ください。)

### 他の議員の一般質問より 中学校給食実施の時期を市長が明示/幼稚園の冷房は/イノシシ対策は など

	実施校
平成29年度2017	(準備開始)
平成31年度2019	2校
平成32年度2020	3校

登市長が答弁した内容を教育委員会事務局が資料にまとめたものを抜粋。具体的な学校名はありませんでした。

他の議員の一般質問に対して登市長は中学校給食の実施時期の目安を答弁しました。会議体としての教育委員会との調整が十分でなかったことなどがのちほど判明しましたが、きちんと調整の上実現に向けて努力していただきたいものです。他には幼稚園の冷房について指摘がありました。猛暑の中、学校施設への冷暖房の議論も重要です。農作物に被害をもたらすイノシシ対策についても質問がありました。「害獣駆除」的な発想にとどまらない議論もしたいですね。

■最大会派・新政会が不適切な政務調査費の支出と指摘された参加費を返還。「後払い清算方式」「ウェブ公開」など政務活動費の改革につなげたいものです。

## 私の9月議会質疑 **マイナンバー制度で高砂市の負担は？／予防接種の危険性も周知を**

### 平成28年から導入のマイナンバー制（社会保障・税番号制度）

●高砂市の負担  
ハード部分（サーバー、プリンターなど）  
7560万円→国の負担は175万円のみ？  
ソフト部分（パッケージソフトなど）  
6700万円程度→国の補助4600万円程度  
さ来年度より実施されるマイナンバー制度にあわせてコンピュータシステム等を大きく入れ替えます。私は高砂市の負担を明らかにして国に対して具体的に要望をすべきと指摘しました。この制度は「法定受託事務」です。国が本来

やるべき仕事に高砂市の税金が使われるのは問題と指摘しました。個人が番号管理される大きな制度変更についても周知と準備が必要です。他の議員からも「個人情報保護」についての体制整備などの指摘が相次ぎました。

### 予防接種の危険性も周知を

水痘や高齢者肺炎球菌感染症の予防接種予算も提案されています。私は委員会も含めて質疑。予防接種の危険性も周知し、副反応

（特に予防接種後の発熱などの有害な症状）については市の相談窓口を強化すべきと提案しました。

### 今回は予算には賛成しました

他にも多面的機能支払交付金事業などで活発な質疑がありました。大部分の予算提案の背景にある国の政策に疑問点が多く、一方で市は「居眠り」状態で市独自の工夫が見られません。そうした点を厳しく指摘しつつ、私井奥は予算には「賛成」しました。

## 私の決算質疑より **法人税収入に頼れない時代がきた／4歳児クラスの臨時職員担当見直しを**

年度	法人税収入	日経平均	できごと
1989	33億6千万	3万8000	バブル最高時
2002	15億9千万	8600	失われた10年終了
2006	34億7千万	1万7000	バブル後最高値
2007	30億8千万	1万5000	
2008	28億6千万	9000	リーマンショック
2009	17億5千万	1万	民主政権交代
2010	12億3千万	1万	
2011	16億8千万	8500	
2012	14億3千万	1万	自民政権交代
2013	10億1千万	1万6000	アベノミクス景気

※日経平均は年の終値を1000円単位に四捨五入

### 法人税収入が最盛期の三分の一

平成25年度（2013）決算で高砂市の法人税収入が最高時期の三分の一となっていることがわかり

ました。いわゆるアベノミクスにより、日経平均の動向を見ても景気回復をしているはずなのに不思議な話です。

原因は「法人税5%減税」と「企業の節税」のようです。節税の中身は個々の企業情報のために不明ですが、「景気回復＝増収」などと簡単なものではないことが、高砂市法人税の実態（大企業税収が大部分）からも明白になりました。

### 幼稚園の臨時職員配置見直しを

幼稚園の4歳児クラス担当が臨時職員に偏っていることも質疑しました。総務省からですら7月に臨時職員について見直し通知がきています。私は「せめて任期付職員の配置を」と指摘しました。

### ●市の職員区分実態

市の正規職員（平均） 年収553万円  
任期付職員〔正規扱い〕 年収301万円  
臨時職員（フルタイム） 年収230万円

	正規	臨時		幼稚園は正規と同じくらいの臨時数
		長期フル	短期など	
幼稚園	26	19	16	
市全体	1070	152	387	

※平成25年度決算委員会資料より

## 国政課題 **消費税10%、原発再稼働、集団的安全保障見直し…全部賛成でいいの？**

消費税10%アップ見直し意見書  
→賛成 井奥、共産（単独提案）  
原発再稼働中止を求める陳情  
→賛成 井奥、共産  
集団的自衛権行使容認の反対陳情  
→（委員会では継続提案が可否同数となり、委員長が継続拒否）  
賛成 井奥、共産、1名

国政課題について地方議会が意見を表明する場合、「陳情採択」か「意見書提出」という方法があります。地方の課題を議論するのが地方議員の役割の一つですが、政治家として市民として重要な国

政課題について政治的立場を表明するための制度です。高砂市議会でも「特定秘密保護法」に慎重な運用を求める意見書を可決したこともあります。

今回、表題の3つのテーマですべて「反対多数」で否決されました。たしかに中身の表現、提出者（共産単独提案の意見書など）という点で賛同しがたい面もあるのでしょうか、それにしても…です。

例えば私は消費税については「私ならこの表現はしない。また将来的な消費税増税まで否定しな

い。しかし、みんな・維新も反対・延長を表明し、安倍首相も慎重な態度を示している中、『今じゃない』という点で一致できないか」という趣旨の賛成討論をしました。集団的自衛権見直しでは「見直しの是非はともかく、閣議決定での手続きが立憲主義の否定を指摘する部分は考慮したいので提案者の意見を聞きたい」という趣旨の発言があったにもかかわらず、委員長が継続審議を拒否。荒っぽい議事進行のためか、他と違い賛同者一人が増えました。